

活動タイトル	子どもの安心・自信・自由を支える北海道&リアスCAP協働事業	団体名	NPO法人北海道CAPをすすめる会	
<p>1年間の活動 (アウトプット)の 目標 (事業全体)</p>	<p>(1) 人材育成共同CAPワークショップの実施 北海道地域にて2回 (2) 地域普及説明会 & 教職員ワークショップの開催 リアス地域にて2回 (3) 広報啓発学習会の開催 北海道地域にて2回 (4) 共同ワークスタッフ受入れマニュアル、スタッフスキルアップ確認シートの作成、アウトカム測定のためのおとな用アンケート</p>		<p>■ 活動風景</p>	
<p>■ 活動報告</p>		<p>■ 1年間の目標に対する達成状況</p>		
<p>(1) 人材育成共同CAPワークショップの実施 (2回) [1回目] 2019年6月26日・[2回目] 6月27日 リアスメンバーが北海道内小学校で子どもワークショップ実習を行った。 リアスメンバー3人が各4ワーク (4クラス) を体験 支援スタッフ北海道メンバー6人</p> <p>(2) リアス地域CAP普及活動の実施 (2回) [1回目] 2018年11月21日岩手県山田町教育研究協議会にてCAP説明実施 リアスメンバー6人・支援スタッフ北海道メンバー1人 [2回目] 2019年8月20日岩手県山田町内小学校にてCAPプレゼン実施 リアスメンバー6人・北海道メンバー1人</p> <p>(3) 北海道地域広報啓発学習会の実施 (2回) [1回目] 6月26日北海道札幌市/「リアスの子どもの『いま』を聴き、語り合う会」 参加者一般15人。ゲストスピーカー:リアスメンバー3人・運営:北海道メンバー6人 [2回目] 7月27・28日北海道札幌市/「成果発表報告会&リアスのいま」 対象J-CAPTA会員100人。担当:リアスメンバー3人・北海道メンバー6人</p> <p>(4) 共同ワークスタッフ受入れマニュアルの作成およびスタッフスキルアップ確認のための「CAPスペシャリスト半人前一人前チェックシート」の作成と測定の実施 一般市民への広報状況を測定する「プレゼンキット」による問合せシートを作成配付 [作成 & 支援打合せ会議] 21回、北海道メンバー6人</p>		<p>(1) 人材育成共同CAPワークショップでCAPリアスメンバー3人がワーク実習を体験し、その成果をリアスグループで共有。計6人が実演しながら説明できるようになった。また、人材育成を担う北海道メンバーの人材も育成され、リアスと北海道の両グループ全体のスキルが向上した。</p> <p>(2) リアスメンバーのスキルアップにより、リアス地域でのCAP普及活動が推進され、小学校への導入に向けた賛同者を得ることができ、助成事業2年目での実施が確定した。事業3年目のリアスメンバー自カプログラム提供を目指して、継続した支援 (スタッフ派遣) が必要である。</p> <p>(3) 啓発広報学習会では、被災地における予防教育の重要性について、当事者の話を直接聴く貴重な機会となった。通常CAPワークショップとは違った切り口で学習会を開催することで、被災地支援者など多様な参加者が得られた。当初は託児も計画したが申し込みがなかった。小さなお子さんをお持ちの方々の関心テーマではなかったか。また、実施後の直接的な新規ワークショップ問合せには至らなかったが、当団体メンバーのビジョンの確認と優先して取り組む課題を共有する機会になった。</p> <p>(4) スタッフ受入れマニュアルとスキルアップチェックシートの作成と効果測定に取り組むことで、メンバー個々人の取り組む課題の見える化と意欲向上につながった。今後は全国のCAPグループに波及させたい。受益者向け「プレゼンキット」の持ち帰り数は予想通りだったが、その後の問い合わせにはつながらず、今後はシート内容を改善することが必要である。</p>		
<p>■ 1年間の活動のまとめ</p>		<p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>	<p>■ 実施した人材育成策</p>	<p>■ 活動成果のアピールポイント (自由記入)</p>
<p>○子どもへの暴力防止CAP活動を先駆的に展開している当団体と東日本大震災後に岩手県沿岸地域に発足したCAPリアスが協働して、人材育成共同ワークショップを実施することで、CAPリアスメンバーのスキルが向上し、人材育成を行った北海道メンバーの人材もさらに育成された。</p> <p>○スキルの向上とともに地域普及活動も推進し、リアス地域での小学生対象子どもワークショップ実施に向けた賛同者・協力者を得て、助成事業2年目での小学校での実施が決定した。</p> <p>○広報啓発学習会により、被災地でのCAPの重要性と平時からの予防教育の必要性について、理解が広がった。</p> <p>○本事業で得た知見を基に、緊急かつ優先して必要な地域での人材育成とCAPプログラム提供活動に活かしていきたい。2年目は、北海道胆振東部地震地域でも展開する。</p>		<p>①チェックリストによるスキルとスキルアップの見える化 プログラム実践者のスキルを測るチェックリストを作成したことにより、メンバー自身が自分のスキルの段階がわかり、自己目標を設定できるようになった。定期的にメンバー全員が測定共有し活用していく。</p> <p>②人材育成マニュアル 共同でワークショップを実施する際の役割分担や責任の所在および遵守すべき項目を「スタッフルール」として整えた。また「CAPスペシャリスト半人前一人前チェック」(半人前3段階一人前2段階)で、スキルに応じた役割について一覧表にまとめた。広報活動は「半人前1」から担当でき、人材育成は「一人前以上」が担当できるなど、担当できる役割を明確にした。</p> <p>上記①②は、トレーニングセンターJ-CAPTAの助言のもと全国CAPグループが活用できるものに改良していく。</p>	<p>CAPスペシャリストの習熟度をチェックする「できることリストチェック」とCAPスタッフとして活動する際の習熟度に応じた役割を確認できる「半人前一人前チェック」を独自に開発作成し測定した。</p> <p>(CAPリアスメンバー：6人計19ポイントUP、小学生プログラム半人前6人。 当団体メンバー：8人計63ポイントUP、小学生プログラム半人前12人一人前8人。新入会員12人。)</p>	<p>この1年間の活動を通じて リアス & 北海道メンバーの人材育成とCAP(子どもへの暴力防止)活動の協力者賛同者の拡大 を達成しました。</p> <p>■ 受益者の変化 (効果測定結果等)</p> <p>①リアスメンバー：チェックリストにより取り組むことが視覚化され、目標を各自が設定できるようになった。自己評価ができることでモチベーションもアップした。メンバーの35%にスキルの向上が得られた。</p> <p>②リアス地域教職員：CAPの必要性を理解し、小学校への導入に向けたアクションがおきた。その結果、助成事業2年目での実施が決定した。</p> <p>③一般市民：参加者の9割以上がCAP学習会やCAPワークショップに満足し、約2割が広報資料「プレゼンキット」を持ち帰り、広報活動に協力した。</p>



CAPプレゼン in 岩手県山田町



プレゼンキット & スキルアップチェックシート

リアス地域
CAP普及活動

マニュアル作成